

<2013 年度 各学部 FD 活動>

学部等名	FD 活動
法学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教学に関する懇話会を教授会終了後に実施。4月と6月に実施。
経済学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ FD 学習会を不定期に開催する (6/13(木)の教授会の中で実施)。 ・ 2012 年度～2015 年度の 4 年間に 1 度全構成員が外部研修会に参加し、FD の現状を学ぶ。
経営学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営学部の成績分布の調査と分析を行う (自己点検・評価報告書に記載済み)。
現代中国学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生へのアンケート (予定) ・ 授業相互見学 (7/8～12 実施)
国際コミュニケーション学部	<p><英語学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度同様、専門の異なる教員同士でペアを組み Peer observation (教員相互の授業参加) を行うことにより、授業の内容・進度・構成について学生の視点に立ってお互いに意見を述べ合い問題点を詳らかにすることで授業改善を目指す。さらに Peer observation 結果を報告書にまとめ、問題点が改善されているかの確認を行う、との報告があった。 <p><比較文化学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各授業において学生の授業態度をそれぞれの担当者が持ち寄り、情報交換を行い、さらにその対応方法について照会・報告を行い、その後についても学科会議で検討を行う、との説明があった。 <p>◇教授会で比較文化学科に出された意見等</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 照会・報告・検討結果について文書にして、活動報告を行える形にしていきたい。 (2) PDCA サイクルを意識した形で実施していきたい。 (3) 学生の授業態度をどのように変えさせていくのかを過去の事例とも比較して実施するかを確認した方がよいのではないか。 <p>⇒審議の結果、英語学科については報告通り、比較文化学科については構成員の意見を踏まえ、一部修正したうえで承認し、次回 FD 委員会に報告することとした。</p>
文学部	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文学部 FD 委員会の活動内容 (2) 報告書での指摘を受け、授業評価の活用の意義に関する学部としての相当の合意事項の形成をはかる。 (3) 人文社会学と現代に関する研究会の実施 (4) FM 豊橋を通じた文学部の教育、研究活動の紹介
地域政策学部	<p><年度目標></p>

	<p>(1) 地域政策学部の演習科目群における授業改善を目的として交流会を実施し、教育の質の向上に取り組む（昨年と同じ）</p> <p>(2) 学部開設 2 年余の経験をふまえ、アクティブラーニングや地域貢献など学部の特色ある教育の成果と課題を振り返る</p> <p>(3) 教学や学生生活を支える学内のさまざまな取組みを知り、連携する。</p> <p><活動方法></p> <p>(1) については、従来の学習法担当者会議、研究法担当者会議に加え、ゼミナールの担当者の経験交流の場を設ける。とくに研究法やゼミナールでのアクティブラーニングの経験交流を図る。</p> <p>(2) については、</p> <p>①大学間連携共通教育推進事業を進める中で入学前教育、初年次教育の現状や在り方を話し合う</p> <p>②学生地域貢献事業への支援等を通して見出された地域貢献活動の教育的意義や課題を話し合う</p> <p>③3 年生へのキャリア形成支援に取り組む中で、地域に求められる人材養成のあり方を話し合う</p> <p>(3) については、教職課程センター事業主任や学生相談室相談員、キャリア支援課、保健室保健師の方などを教授会に招いて意見交換する。</p>
短期大学部	<p>・独自の FD 活動として、この 7 月、すべての基礎演習と卒業研究ゼミにおける、アンケートを実施する</p>
法科大学院	<p>・春学期授業参観を実施</p>
会計大学院	<p>・従来から授業評価アンケートとともに教員によるピアレビューを実施してきた。2013 年度も引き続き、これらの評価およびレビュー結果と各教員の授業改善との関係の検討を行い、FD 活動が教育実践の向上に着実に結びつく体制の整備を図る。</p>